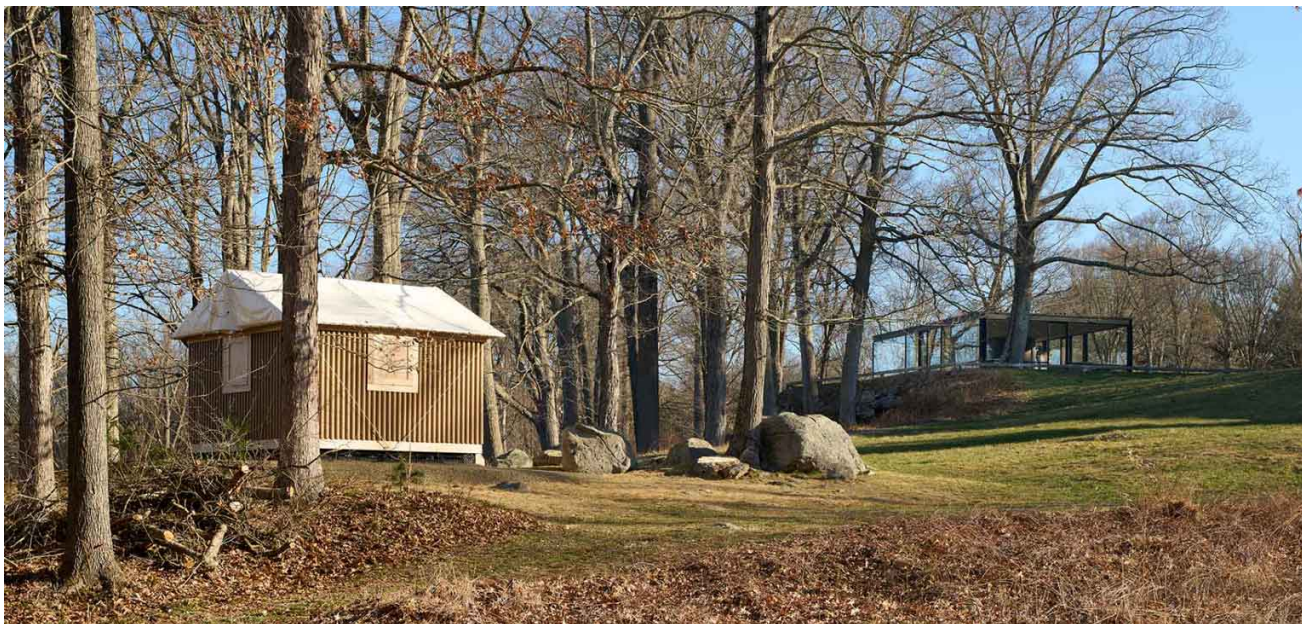


Year: 2024

Location: United States

Program: 展示

紙のログハウス フィリップ・ ジョンソンのガラスハウス横



紙のログハウスが、アメリカを代表する建築家フィリップ・ジョンソン（1906 – 2005 年）の旧自邸敷地内のガラスハウス横に2024年4月15日～12月15日まで展示されました。

この紙のログハウスは、1995年に阪神大震災の被災者のために建てられた仮設住宅と同じものです。今回、ジョンソンのガラスの家（Glass House, 1949）の竣工75周年およびレンガの家（Brick House, 1949）の復元の記念イベントとして、坂の母校であるクーパー・ユニオンの同窓でパートナー建築家のディーン・モルツの発案で企画が始動し、同校の建築学生39名によって組み立てられました。基礎には通常日本で使われる砂袋を入れたビールケースの代わりに、アメリカで馴染みのある牛乳用のケースが使われました。

坂の発展しつづける「紙」の建築が、時を超えてジョンソンの「ガラス」と「レンガ」の建築と同じ空間に佇む様子は、ニューヨークタイムズでも紹介されています。購読している方は以下のリンクよりぜひご覧ください。

<https://www.nytimes.com/2024/04/19/realestate/shigeru-ban-glass-house-connecticut.html>

写真: Michael Biondo